

令和6年度（中央農業高等学校）不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課題	目標	実施結果と目標の達成状況
★生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	人権意識を高めセクハラ・わいせつ行為を未然に防止する。	5/21の不祥事防止会議を経て5/22に不祥事防止研修を[STOP! ザ・セクハラ/わいせつな行為]啓発資料を利用して実施した。加えて、6/20、12/21に校長による規範意識の醸成に関する注意喚起を実施し、当事者意識を高め教育公務員としての自覚を促した。
法令遵守意識の向上	常に教育公務員としての自覚をもち、信用失墜行為を未然に防止する。	常に教育公務員としての自覚を持つよう11/19、12/20、2/6、3/21に飲酒時の意識啓発及び服務規律の順守について定期的に、公務員の服務について再確認を行った。
★職場のハラスメントの防止	ハラスメントに対する意識を高め、良好な職場環境をめざす。	5/22のセクハラに係る研修の他に、1/16に「職場のハラスメントの防止」を利用して注意喚起を促した。2/4不祥事防止会議を経て2/6に啓発資料を用いて「同僚性」の意識を向上させ、風通しの良い職場づくりについて確認した。
★体罰、不適切な指導の防止	生徒の人権を尊重し、体罰・不適切指導を未然に防止する。	7/17、3/19不祥事防止会議、7/18、3/21に研修にて、「体罰・不適切な指導の防止」等の啓発資料を用いて体罰等は「他人事」ではなく自分の周りにもきっかけがあることを注意喚起した。また、5/22、6/20、2/6に「体罰・不適切な指導」について校長より注意喚起し、不適切行為が起きる背景について確認した。しかし、次年度へ課題を残す結果となった。
★成績処理、進路関係書類の取扱いに係る事故防止	成績処理・進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故を未然に防止する。	6/17不祥事防止会議、6/20不祥事防止研修にて啓発資料「定期試験・成績処理の事故防止」を利用して、各定期試験前に成績処理・教務基準について確認した。12/6朝の打合せにて、答案用紙とデジタル採点で使用した答案用紙の写しの取り扱いについて確認した。
個人情報管理・情報セキュリティ対策	個人情報の管理に対する意識を高め、個人情報の紛失・流出・滅失を未然に防止する	不祥事防止会議を経て、4/23、6/20、9/18、2/6に不祥事防止研修にて生徒の個人情報の基本的な取扱いを定期的に再確認し、事故防止に努めた。しかし、個人情報の管理に対する意識が低い点があり、次年度へ課題を残す結果となった。
交通事故防止酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通法規の遵守に努め、交通事故・違反・酒酔い・酒気帯び運転を未然に防止する。	歓送迎会に合わせて打合せで飲酒運転防止の意識啓発を実施。11/14不祥事防止会議を経て11/19不祥事防止研修会にて啓発資料「飲酒運転の根絶に向けて」を参考にして、年末年始の交通事故防止について確認した。
業務執行体制の確保等	業務執行にあたり、事故を未然に防止するため、情報を共有し相互チェックを行う。	日常の業務執行について風通しの良い職場環境で、職員同士で情報共有をするように心がけた。また、9/18、1/16に不祥事防止研修会にて啓発資料を配付し、意識の向上を図り事故防止に努めた。
★入学者選抜に係る事故防止	入学者選抜業務に係る事故を未然に防止する。	12/19不祥事防止会議、12/20不祥事防止研修にて入学者選抜に係る事故事例を全体で共有した。2/6職員会議冒頭に「入学者選抜は中学生の人生を決定する重要な業務であることを自覚する」よう再度注意喚起を行い入学者選抜に臨んだ。
不適正経理処理の防止	県費・私費の会計を適正に執行する。	5/22に私費会計の手順について資料を用いた説明及び、10/21不祥事防止会議を経て、10/28不祥事防止研修にて啓発資料「適切な私費会計の取扱い」を用いて、私費会計ルールと適切な会計執行を確認するとともに注意喚起した。

○令和6年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和7年度に取り組むべき課題（学校長意見）

「生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止」・「職場のハラスメントの防止」・「体罰、不適切な指導の防止」・「成績処理、進路関係書類の取扱いに係る事故防止」・「入学者選抜に係る事故防止」の5項目を重点目標として取り組んできた。各課題についておおむね達成することができた。しかし、一部重点目標としている課題について課題を残す結果となったため、令和7年度については学校全体で深く受け止め、さらに同僚性の醸成を図り風通しの良い職場環境の構築に努めていきたい。